

研究主題

自ら課題を見付け、主体的に追究し、自分の生き方を考えていこうとする子供の育成を目指す「総合的な学習の時間」はどうあればよいか。

1 単元名 「特ダネ・得だよ情報」活用大作戦〔 〇〇 〇〇 に熱中！〕

～「見て納得」「聞いて納得」「やって納得」「伝えて納得」「知って納得」～

2 単元の目標

- ・ 課題（教科から発展したことや日ごろの生活で興味・関心があることなど）について、「特ダネ・得だよ情報（自分にとっても、聞く人にとっても）」を集め、まとめ、発表し、意見交流することに熱中して取り組もうとする。 （学習への主体的・創造的な態度）
- ・ 学習活動を通して、表現する力などのいろいろな能力をつけたり、様々な人とかかわることや計画立てて活動することの大切さを実感したりすることができる。 （課題設定の能力・問題解決の能力・情報活用能力・総合的な表現力・コミュニケーション能力）
- ・ 「特ダネ・得だよ情報」を生活や学習に活用しようとする。 （総合的な判断力・行動力）

3 単元について

(1) 学級経営方針（単元にかかわる事項を抜粋）

- ・ 一人一人が自分らしさ（よさや可能性）を發揮し、互いに認め合い、励まし合える温かい人間関係を育てる。
- ・ 自己表現する楽しさを味わいながら、主体的に学習を進めていくことができるようにする。

学級目標

「目指せ！ キラリと輝く5年1組スター集団」

～みんなの知恵と力を集めて、ハーモニーをつくりあげよう～

(2) 児童の実態（【 〇〇 〇〇 】は、教師の願い。）

- ・ 学習課題は最後までやり遂げようとがんばる子が多いものの、やや丁寧さに欠ける。
【集中して活動に取り組み、最後までしっかりと果たす経験をさせたい。】
- ・ 自分の思いや考えを学習に生かそうとする子もいるが、どのように生かせばいいのかとまどう子や自分の考えがなかなかもてない子が多い。
【情報を集めたり、まとめたり、発表したりする中で表現力などの力を身に付けてほしい。】
- ・ 同性又は男女同士で仲良くかかわる姿も多く見かけるが些細なことで反発し合うことも少なくない。人とかかわる経験が乏しい。

【同級生同士で互いにかかわり、高め合うことの大切さを感じてほしい。また、様々な人と進んでかかわることのよさを実感してほしい。】

(3) 単元設定の理由

児童の実態をふまえて、総合的な学習の時間に、熱中して学習活動に取り組み成果を上げてほしいと思った。また、調べ学習では、自分や友達、周りの人などにとってなるほどと思えるものつまり「特ダネ」「得だよ」と言える情報を集め、まとめ、発表し、自分はもちろん他の人にも役だった喜びを感じてほしいと思った。さらに、見るだけでなく、聞いたり、体験したりと多様な活動を展開して、たくさんの成果を上げてほしいと思った。そこで、上記のような単元名の学習に取り組むことにした。本単元と教科の学習や夏休みの自由研究をうまくつなげて、充実した活動にしていきたいと考えている。

(4) 単元の特性（価値）

- ・ 課題が各自の興味・関心に応じたものなので、取り組みが意欲的になることが期待できる。
- ・ 情報を集める多様な方法から自分に合った方法を選択できる。
- ・ 夏休みも活動にふくめるので、一番身近な地域の人である家族とのかかわりも期待できる。また、専門店や専門施設、図書館等へ足を運ぶことも考えられる。
- ・ 「特ダネ・得だよ」情報をまとめたものを発表し合う場があり、分かりやすく伝えたり、友達から様々な情報を吸収したり、アドバイスをもらったりして活用できる。
- ・ 自力でまたは友達の協力を得てやり遂げることで、自信をもって、そして、協力してその後の学習や生活に取り組んでいけるかもしれない。
- ・ 豊かに表現することやいろいろな人とかかわることのよさを体感することができる。

(5) 子供に身に付けさせたい力

課題設定の能力

- ・ 疑問や興味をもとにやってみたいことや調べたいことを見付け、自分の課題を決めることができる。

問題解決の能力

- ・ 課題を解決するための見通しをもって、自分なりの学習計画を立てることができる。
- ・ 自らの課題意識をもち、粘り強く追究したり、アドバイスをもらったりしながら課題を解決することができる。

情報活用能力

- ・ 様々な人々（友達・家族・学校の先生や教職員、地域の人や専門家）に聞いたり、本やコンピュータで調べたり、体験したり、見学に行ったりなど目的に応じた調査方法で情報を集めて、整理し、まとめることができる。

総合的な表現力

- ・ 調べて分かったことや考えたことを伝える相手に応じて、分かりやすく効果的な方法で表現できる。（ポスターセッション）

コミュニケーション能力

- ・ 相手にとって分かりやすいように話したり、相手の話をしっかりと聞いたり、きちんとした受け答えをしたりすることができる。

総合的な判断力・行動力（生き方をふり返る力、生活に生かす力、進んで行動する力）

- ・ 学習を通して学んだことをその後の学習や生活に生かすことができる。

4 研究主題との関連

仮説1 育てたい能力や資質を明確にし、教科との関連を図りながら、必要に応じた支援・指導を行うことにより、子供たちは確かな学力を身に付けながら、主体的に追究を進めることができる。

社会や算数で学ぶ「表やグラフの見方、作り方」国語で学ぶ「レポートの書き方、発表の仕方」等を総合の学習とうまくつなげて、「総合に生きる教科、教科に生きる総合」にしていきたいと考えた。

以下に「総合の学習活動と教科との関連」を示す。

教科の学習との関連を図った学習の流れ（総合に生かす教科、教科に生かす総合）

- | | |
|----------------------|-----------|
| (1) 課題のさがし方について学習する | 課題をさがし決める |
| (2) 学習計画の立て方について学習する | 学習計画を立てる |

- ・ 課題発見
- ・ 課題への追究の姿勢等
- ・ 実験・観察の方法（比較・継続等）
- ・ 家庭「身の回りを見つめてみよう」
- ・ 社会「わたしたちの生活と食料生産」
- ・ 道徳「いつも全力で」（+心のノート）
「インスタントラーメンのたんじょう」
「わたしのボランティア体験」
- ・ 理科「植物の発芽と成長」

(3) 情報の集め方について学習する 情報を集める（知る・見る・聞く・体験するなど）

- ・情報収集
 - ・・・国語「こんなこと、したいな」
「依頼の手紙、お礼の手紙」
 - ・・・社会「わたしたちの生活と食料生産」
「水産業のさかんな八戸市」
（まなび方コーナー）
 - ・・・道徳「オーストラリアで学んだこと」
「心のレシーブ」
「わたしのボランティア体験」

(4) 情報のまとめ方を学習する 情報を整理し、工夫して自分なりのアイデアでまとめる（分かったことや感想）

- ・情報のまとめ方
 - ・・・算数「小数のかけ算・わり算」
「だいたいいくらになるのかな」
 - ・・・国語「筆者の考えをとらえよう」
『海にねむる未来』
「調べたことを整理して書こう」
『言葉の研究レポート』
 - ・・・社会「わたしたちの生活と食料生産」
「水産業のさかんな八戸市」
（まなび方コーナー）

(5) 発表資料の作り方を学習する・話し言葉の練習をする 発表資料をつくり、自分で練習したり、グループでの協力方法を決める。

- ・・・国語「体験したことを分かりやすく伝えよう」
『わたしたちの学校生活』
『書くということ』

(6) 友達同士で発表リハーサルをし、意見交流をして、発表内容や発表の仕方よりよいものにする。（リハーサル 手直し リハーサル 手直し）

(7) 発表会で学習の成果をひろうする

(8) 学習で身についた力や様々な人から学んだことを出し合ったり、学習の成果をその後の生活でどのように生かすかを話し合う。

(9) 話し合ったことをもとに活動を進める。

仮説2 心をゆさぶったり、安心して活動が行ったりできるような情報提供をすることによって、「もっと知りたい」「もっと探してみたい」「活用してみようかな」というような思いにかられ、自分らしさを発揮しながら対象にかかわっていくことができる。。また、共に学ぶ仲間の見方や考え方、取り組み方などにふれ、共感したり違いを意識したりすることで、自分のよさや高まりに気付くことができる。

仮説に基づいた支援として、次のことを行う。

(1) 心をゆさぶったり、安心して活動が行ったりできるような情報提供

様々なジャンルの本の紹介やインターネットの検索エンジンのメニュー紹介、NHK教育テレビの番組「インターネットハイスクール たった一つの地球」「みんな生きている」などの視聴の場を設けることで、子供たちの追究意欲を喚起したい。

また、活動例や情報の集め方のマニュアル（「学び方技能が育つ「総合的な学習」ワークを使用）を配布して、学習計画を立てたり情報を収集するときの参考にできるようにしたい。

(2) 互いのよさを認め合ったり、互いを高め合ったりできる場の設定

課題・学習計画発表会、中間発表会、発表資料作成週間、発表会等の場を設け、自分の計画や活動状況、悩み等を出し合い、アドバイスや期待の言葉をかけ合ったり、「感想・アドバイスカード」を交換し合ったりすることによって、熱中してがんばることや助け合うことの大切さを実感したり、自分や友達それぞれのよさや高まりに気付くことができるようにしたい。

仮説3 活動場面に応じた書きやすい学習カードを取り入れることによって、子供たちは自分の考えを確かなものにしたり、自分をふり返り次のステップへの歩みを進めることができる。

課題づくり、学習全体計画作成、次の時間の計画、活動の見直し等がしやすいように、それぞれに応じた学習カードを作成して、思いや考えを書くことによって明確なものにできるようにしたい。

5 活動計画

学習の流れ

- (1) 課題のさがし方について学習する 課題をさがし決める
- (2) 学習計画の立て方について学習する 学習計画を立てる
- (3) 情報の集め方について学習する 情報を集める(知る・見る・聞く・体験するなど)
- (4) 情報のまとめ方を学習する 情報を整理し、まとめる(分かったことや感想)
- (5) 発表資料の作り方を学習する・話し言葉の練習をする 発表資料をつくり、自分で練習したり、グループでの協力方法を決める。
- (6) 友達同士で発表リハーサルをし、意見交流をして、発表内容や発表の仕方をよりよいものにする。(リハーサル 手直し リハーサル 手直し)
- (7) 発表会で学習の成果をひろうする
- (8) 学習で身についた力や様々な人から学んだことを出し合ったり、学習の成果をその後の生活でどのように生かすかを話し合う。
- (9) 話し合ったことをもとに活動を進める。

学習計画(全体)

5月末 ~ 夏休み ~ 9月10日
(金)

・6月初旬

課題及び学習計画発表会
(紹介・相談・質問・アドバイス)

学習の流れ(1)(2)(3)(4)(5)

・6月下旬

中間発表会(学習の進み具合)
(紹介・相談・質問・アドバイス)

・夏休み

自由学習会(2回)

相談会(2回)

・~9月10日(金)

ポスターセッションでの発表資料完成

9月13日(月)~ 10月4日(月)

・9月13日(月)~10月4日(月)

リハーサル1~4

学習の流れ(6)

(友達・他の学校の先生方)

10月7日(木)

・10月7日(木)《学習参観》

学習の流れ(7)

発表会(友達・保護者向け)

10月12日(木)~ 1月

・10月12日(木)

学習の流れ(8)(9)

成果とその後の活動について